

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和4年7月11日（月）午前10時00分から午前11時40分まで
3 開催場所	長岡造形大学 大学院棟3階 第2会議室
4 出席者名	<p>（委員）中村委員長 草間委員 並木委員 水澤委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 佐々木理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長</p> <p>（事務局）長岡市地方創生推進部 竹内部長 長岡市政策企画課 目黒課長 長岡市政策企画課 早川課長補佐 長岡市政策企画課 小黒主任</p>
5 欠席者名	榎委員
6 議事	<p>（1）令和3年度業務実績報告について</p> <p>（2）役員報酬規程の改正について</p>
7 審議結果の概要	議事（1）は、大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書づくりに反映させていくこととなった。議事（2）は承認された。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>これより、令和4年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに地方創生推進部長よりご挨拶申し上げます。</p>

事務局・地方創生 推進部長	(部長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名のうち4名が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の佐々木理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長ほか事務局職員からご出席いただいております。</p> <p>それでは、佐々木理事長から一言ご挨拶をお願いします。</p>
理事長	(佐々木理事長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>佐々木理事長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>それでは議事に入りたいと思います。今日の議事は2件です。</p> <p>1件目は、令和3年度業務実績報告についてです。大学から自己評価の説明をしてもらい、それについて委員から質問とご意見を伺います。財務状況については参考情報としてご説明いただければと思います。</p> <p>2件目は、役員等報酬規程の改正について事務局より説明してもらい、それについて委員から質問とご意見を伺います。</p> <p>では、1件目の令和3年度業務実績報告についてです。</p> <p>まず初めに、年度評価における評価基準についてです。</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、不特定多数が集まるイベントや学生の海外留学支援など、一部の事業がやむを得ず中止になったと伺っています。</p> <p>年度評価実施要領によると、事業を実施しないときの評定は「d」となりますが、昨年度審議した令和2年度の評価書では新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止にした事業で、評価基準における評定や標語を付すことが適当でないものは、「評価なし」としました。令和3年度の評価についても昨年度評価と同様に該当項目については「評価なし」としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>【委員全員 了解の発言】</p>

財務課長、学長	<p>それでは、大学側から業務実績報告について、説明をお願いします。</p> <p>(資料1により説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さんで質問や意見などありましたら、お願いします。</p>
委員	<p>17ページの通番31、女子学生へのヒアリングを行ったということがとても良かったと思いますし、生理用品を設置したことも非常に良かったと思います。些細な事ではありますがすごく画期的なことであると思いました。また、トイレ内に性暴力のパンフレットなど置いてなかったら置いていただけるいいなと思いました。</p>
事務局長	<p>令和3年度は学生支援課長に女性を配置、あわせて医務室に看護師資格を持った職員2名を配置しました。女子生徒に限らずですが、話しやすい、近寄りやすい事務局・医務室としています。生理用品の設置については市から打診がありお願いしました。</p> <p>性犯罪防止については警察署と協力しながら、学生の被害防止に取り組んでいるところです。大学のポータルサイトやパンフレットを通して情報発信を引き続きしていきます。</p>
委員長	<p>委員の皆様、ほかに意見はございますか。</p>
委員	<p>まず、9ページの通番6、コロナ禍でもオンラインを活用するなどして志願倍率5倍を確保したことが素晴らしいと思います。志願者を維持することは経営の安定、収入確保のため、よりよい人材を確保するためにとっても大切なことですので、様々な取り組みにより倍率を維持されたことについて評価すべき点であると思います。</p> <p>また、県外からの入学者が長岡で学び全国各地に長岡の魅力を発信していただけることも素晴らしいことだと思います。</p> <p>次に、17ページの通番30、他大学では学生の引きこもり、留年、退学があるとお聞きしますが、造形大学では学生の心身の悩みに対面やオンラインで対応しており、学業だけでなく心のケアが大事にされています。先生方で好事例の共有を行ったとありますが、具体的な事例を教えてくださいたいと思います。まだまだこのような状況は続くと思いますので、引き続き学生に寄り添いながら対応していきたい</p>

	<p>と思います。</p> <p>次に、25ページ通番④と31ページ通番⑧が研究の成果に関する指標の目標値が「大幅に上回る」という今回大学の自己評価が一番高かったところですが、コロナ禍で制約が多い中プロジェクトの数を確保するというは大変だったと思います。地域に貢献するという点で非常に評価できる点であると思います。数多く取り組むことができた要因などありましたらお聞かせいただければと思います。</p> <p>最後に、コロナ禍で学生の就職が厳しい状況の中で就職率が前年維持できていることは評価できる点だと思います。大学が厳しい状況のなかで取り組まれていることは感じていますので、これからも学生に寄り添って対応していただければと思います。</p>
事務局長	<p>まず、9ページの志願者確保についてですが、令和3年度は会場形式での相談会が開催ができずオンライン開催となったため、本学に限らず他大学も志願者確保が難しい状況です。</p> <p>本学の独自の取り組みとしては、オンライン説明会を早急に導入し、高校に個別相談を受けることを周知したことが志願者確保につながったと思います。</p> <p>市内枠についてですが、長岡へ通学している学生並びに長岡市民に対して本学の内容をもっと伝えていきたいと思っております引き続き努力していきます。</p> <p>県内の学生向けの対応ですが、今年度の進学説明会は対面開催となっており学生の動きだしが早く、担当職員だけでは足りなかったため急遽職員を増員して対応しています。受験者数確保にしっかり取り組んでいきます。</p>
	<p>次に、17ページ、学生の心身の健康と生活上の悩みについてですが、医務室・カウンセラーをそれぞれ2名体制をとっております。もともと対面のみでしたがオンラインにも対応したことで、相談しづらかった学生が相談できるようになったと聞いていますので継続していきたいと思っております。</p>
学長	<p>学生と教員の距離についてですが、本学の1000名程度というのは非常にいい人数となっています。1年生の授業のコメントでは、教員と学生の距離が近いとよくあります。1年生は5～6人の学生に対して一人専任がつくホームルーム制をとっており、最低でも年2回はホームルームをすることとなっています。また3・4年生は専門のゼミの教員がついています。先ほど事務局長から説明したとおりホーム</p>

	<p>ルーム制やゼミなどで足りなかった学生にはカウンセラーを含め対応しています。学生ひとり1人の動向をしっかり把握するというのが本学の特性とっております。</p> <p>次に地域貢献に関する研究・プロジェクト数についてですが、本学は公立大学になってから地域の大学ということを改革を進めてきました。公立化によって地域に入っていく授業を地域連携型授業とし先生方から企業等との協働プロジェクトや地域とのボランティア等のプログラムを作っています。</p> <p>これが単位化されていますので、すべての学生が必ず受講する科目となっており他大学にはない珍しい取り組みだと思えます。</p>
委員長	委員の皆様、ほかに意見はございますか。
委員	<p>5ページ(1)、授業においてはオンラインと対面をバランスよく取り入れとありますが、オンラインには録画機能により複数回授業を見かえせるメリットもあります。コロナ禍が続いているため、そのなかで良いバランスを見極められてきたと思いますが、いかがでしたでしょうか。</p> <p>新学科としてIT・テクノロジーを活かした学科ができるとお聞きしました。モノを作って世に出して売って経営するという事業化のデザインという視点や、ニーズをつかんで形にしていくことは授業のなかで行うことは難しいかもしれないが、事業化までのデザイン力は今後取り入れられていくのでしょうか。</p> <p>また、5ページ、ミライエ長岡のオープンに向けた試行の取組についてどのようなことをされたのかお聞かせください。</p>
学長	<p>オンラインと対面のバランスについてですが、本学はいち早くオンライン化できたと思いますが、導入したばかりの頃の学生は混乱をしていました。今の受験生は大学の状況をわかったうえで入学しているため状況に適応している印象があります。</p> <p>教員のカメラワークの工夫や効果的な機器の使用、録画機能により何度でも確認できるようになったことで対面より分かりやすい授業もありオンラインの効果がかなりあると考えています。それぞれの教員が一番効果的な方法で授業を実施しています。</p> <p>ただ大講義室で多くの人が集まっているときの雰囲気はなかなか体験できていません。多くの人が集まる経験から場の雰囲気、状況が感</p>

副理事長	<p>覚的にわかるなど、特に多くの人が集まるときに人はどのような動きをするのかを観察する機会がないのが今後の課題だと思います。</p> <p>デザインの役割についてご説明します。</p> <p>ご存じのとおりデザインの役割は非常に拡大しておりまして、ものづくりとしてのデザインとあわせて最近はコトづくり仕組みづくりとしてのデザイン、つまり問題を発見して解決するまでのプロセスのデザインの役割が非常に大きくなってきています。例えば、本学の教育の仕組みがグッドデザイン賞を受賞したのも仕組みづくりとしてのデザインが評価されてきている証だと思います。ものづくり・造形・表現としてのデザインに加え、コト作り・仕組み作りとしてのデザイン、その一つにデザイン思考がありイノベーションの有効な手法として注目されていますので引き続きしっかり教えていきます。</p> <p>ミライエ長岡での取組についてですが、完成をしたら4大学1高専が連携して地域や企業と新しい価値を作っていく場所になると思っています。昨年度は高専と連携して起業家を育成するためのプログラムをしたり、地域協創演習の共同実施などを行いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私からですが、大学はいわゆる造形だけでなく発想やものの考え方までがデザインであると打ち出されました。今後どう展開されていくか関心があります。学科再編によりプロダクトデザイン学科と視覚デザイン学科があわさってテクノロジーとデザインの組み合わせで新しいデザイン学科ができるのでうまくいくことを期待したいと思います。</p> <p>この計画も何年も前から考えていたと思いますが、世の中の動きはとても早く、ここ数年であればSDGs・コロナ・ウクライナ侵攻など予期しないことが多く起きています。そのなかで大学が目指すデザインという概念がどういう風に期待できるかを踏まえ練り直しながら進んでいっていただけたらと思います。</p>
委員長	<p>では、議事2件目、役員等報酬規程の改正についてに移ります。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・政策企画課長	<p>(資料2を基に説明)</p>

委員長	<p>説明ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>期末手当の基準などは市に準拠されていると思いますが、これほど頻繁に変わるのでしょうか。</p>
事務局・地方創生推進部長	<p>人事院勧告を受け市も基本的には準拠することになっております。市の動きにあわせて造形大学も変更されています。</p>
委員長	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>それでは本日予定していた議事は以上となります。</p> <p>進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、これにて、「令和4年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

委 員

委 員

9 会議資料

- 次第・出席者名簿
- 資料1 令和3年度業務実績報告書
- 資料2-1 公立大学法人長岡造形大学の役員報酬及び職員給与の支給基準に関する届出書（変更）（令和3年12月20日付）
- 資料2-2 公立大学法人長岡造形大学の役員報酬及び職員給与の支給基準に関する届出書（変更）（令和4年4月6日付）
- 資料2-3 公立大学法人長岡造形大学役員報酬規程